

北里柴三郎顕彰2024事業 開催報告

熊杏会 会長 遠藤 文夫

令和6年7月に発行された新千円札の肖像に北里柴三郎博士の肖像が採用されたことを機に、熊本大学医学部同窓会熊杏会では、肥後医育振興会、熊本大学医学部、熊本大学病院のご賛同を得て、北里柴三郎顕彰事業「北里柴三郎記念イヤー2024」を企画し、今年の1月から1年間を通して記念講演会等の事業を行っております。肥後医育振興会には、物心両面にわたり多大なるご支援を賜り、厚く感謝申し上げます。事業について、以下のとおり報告いたします。

1. 令和6年1月11日(木)に熊本大学病院外来棟玄関に掲額した「北里柴三郎博士とマンズフェルト先生のレリーフ像」の除幕式を挙行了しました。
式には、北里柴三郎博士の曾孫で北里大学名誉教授の北里英郎先生ご夫妻をはじめとして、約20名にご臨席いただきました。レリーフ像は熊本大学名誉教授の石原昌一先生に制作していただきました。(石原先生は令和6年5月28日にご逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。)
2. 同日、「北里柴三郎記念イヤー2024」第1回顕彰講演会を熊本市医師会館2階講堂にて開催しました。
幕開けとなる本講演会は、前述の北里英郎先生に



記念講演会
山崎光夫先生



記念講演会
檀原宏文先生



第1回顕彰講演会
北里英郎先生

「柴三郎とマンズフェルト先生」と題して、お身内ならではの話を含めていただき、大変貴重な講演となりました。

3. 令和6年2月22日(木)に第1回マンズフェルト賞の授賞式を肥後医育ミュージアムにて行い、最優秀賞1名、優秀賞2名を表彰しました。
熊杏会では熊本大学病院と共同し、熊本大学病院群卒後臨床研修プログラム及び熊本大学病院専門研修プログラムに所属する者を含む若手医師を対象として、マンズフェルト先生の名を冠した賞を創設しました。
4. 令和6年3月31日(日)に記念講演会(肥後医育塾特別企画)を熊本城ホールシビックホールにて開催しました。

講演1は、檀原宏文氏(北里大学名誉教授・(一社)北里柴三郎記念会理事長)に「北里柴三郎の歩いた道をたどる旅ー北里柴三郎がとった危機の乗り切り方ー」と題して、小国郷を実際に歩かれた檀原氏のご経験を基に、幼少期から壮年期における北里博士の危機を取り上げ、どのように考え、危機を克服したかを多くの資料を使って講演いただきました。

講演2は、山崎光夫氏(作家、「ドンネルの男」著者)に「北里柴三郎・日本細菌学の父ー『終始一貫』の人生と業績ー」と題して、東京医学校時代に行った牛乳会社でのアルバイトをはじめとする人間味あふれる北里博士のエピソードを中心に講演いただきました。

5. 同日、シビックホールホワイエにて、「北里柴三郎と熊本ゆかりの先達たち」と題したパネル展示を

